Service Above Self（超我の奉仕）

西那須野ロータリークラブ週報

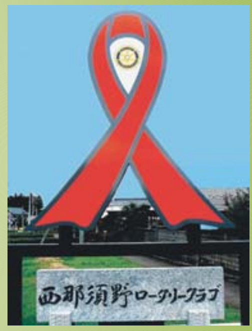
Nishinasuno Rotary Club Weekly

NISHINASUNO JAPAN

●小関　栄 西那須野ロータリークラブ会長テーマ●

ロータリーを楽しもう！

第2410回（本年度25回）2024. 3 . 21



ＲＩテーマ

世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリーRI会長

世界に希望を生み出そう

地区テーマ

ロータリーの基本はクラブです！
クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう！
言葉や口先だけでなく「行動」をもって誠実に
ロータリーを楽しみましょう！

三井 福次郎 2550地区ガバナー

開会宣言・点鐘	会 長　小関　　栄さん
司　会	SAA　小中　一成さん
ロータリーソング	（それでこそロータリー）
お客様紹介	ドン・グェン・コイ君 グェン・キン・レンさん

会長の時間

会長　小関　栄さん

コイ君、御卒業おめでとうございます。米山奨学生修了式になります。そして本日は、コイ君のお母様、グェン・キン・レンさんがベトナムからお越しくださいました。

２年前、私はSAAとして、コイ君を月に一度ご紹介いたしましたことが懐かしく思いだされます。まだコロナ禍での例会のため、米山奨学金を渡す時だけでした。もちろん夜間例会などはありませんでしたのでかわいそうでした。

コイ君は、この２年間、たくさんの行事に参加してくれました。本当に勤勉であり、前向きで好奇心旺盛、また知見を広めることに貪欲です。コミュニケーション能力もとても高く、リーダーシップを取っていける青年です。そしてとてもやさしく、社会人になったら、お母さんを３ヶ月に一度は日本に呼びたいそうです。

コイ君、健康に気を付けて、これまでの経験を活かし、ベトナムと日本の懸け橋として、ご活躍されることを期待します。出会いって本当に素晴らしいですよね。ロータリアンはそれぞれの個別活動、そしてクラブ全体での活動が必要ではないでしょうか。それが平和につながればと思います。

太田エレクトから、次年度の地区ガバナーのテーマは、本年度の私のテーマと同じ「ロータリーを楽しもう！」だと聞き驚きました。ロータリーの楽しさは、各個人がロータリー活動に参加して、見つけていければよろしいのではないでしょうか。

３月26日 例会プログラム

12：30	開会宣言・点鐘	小関　栄会長
12：31	ロータリーソング（奉仕の理想）	
12：33	お客様紹介	小関　栄会長
12：34	お食事の時間	
12：52	会長の時間	小関　栄会長
13：02	委員会報告	
13：05	幹事報告	青山吉博幹事
13：08	会員卓話	
13：16	友の記事紹介 ロータリー雑誌副委員長	益子　浩さん
13：24	スマイルボックス報告 八木沢浩司スマイルボックス委員長	
13：28	出席報告	益子　修出席委員長
13：30	閉会宣言・点鐘	小関　栄会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。欠席連絡は午前９時までに。
ＳＡＡ 小中　一成　（携帯 090-3069-8870）
FAX 0287-48-7606　TEL 090-3069-8870

会　長　　小関　栄　　幹　事　青山　吉博
会報委員会　委員長　田原　直之・鈴木　仁志
井上　雅央

「ロータリーの友」3月号記事紹介

ロータリー雑誌副委員長　益子　浩さん

今月は、水と衛生月間です。

横組みP4 ～P5

RI会長メッセージ：「ロータリー平和フェローのように考える」の記事です。

平和への道は数多くあります。ロータリーには幸い、この真実を自ら示し続ける、ロータリー平和フェローがいます。ロータリーは毎年、世界中のリーダーが平和と発展を学ぶため、最大130人にフェローシップを授与しています。平和フェローは、紛争の予防と解決に取り組み、積極的平和を促進するために学び、その準備を整えます。これまでに約1,800人の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、学んだことを生かして140カ国以上で活躍しています。

平和フェローと彼らを支えるロータリー会員の継続した活動からインスピレーションを受け、皆様が今後も奉仕、ファンドレイジング、クリエイティブな思考を通じて「世界に希望をもたらす」ことができるように。と言っております。

横組みP7 ～P15

特集 水と衛生　トイレ、その先へ

ロータリークラブ初の奉仕活動が、アメリカ・シカゴ市への公衆トイレの寄贈だったことはご存じですか？日本のロータリークラブもニーズのある国や地域にトイレを設置し、衛生問題の改善に貢献しています。しかし各地の取り巻く環境を調査していくと、課題はまだまだ山積。トイレ環境最先端を行く日本にいるとなかなか見えてこないトイレ環境、支援のヒントを紹介します。

インドのトイレ普及の現状と課題　ロータリー財団学友 元橋 一輝さんの記事です。元橋さんは、2018－19年度2750地区グローバル補助金奨学生（スポンサークラブ：東京あけぼのRC）として、アメリカ・タフツ大学大学院にて水と衛生分野「水と衛生に不自由しない世界の実現へ」をテーマにインドの水と衛生問題を研究。現在、一橋大学社会科学高等研究院特任講師。

インドではナレンドラ、モディ氏が首相についた2014年から、「寺院よりトイレ」というスローガンの下で、トイレ建設が進められました。13年におよそ40％だった農村部のトイレ普及率は数値的には19年にほぼ100％までに向上しました。しかし農村部では、トイレが建設されても、それを利用するという行動変化までつながっていないという課題があります。改善された衛生設備を利用している人口は46％にとどまっています。注目したのは、トイレの汲み取り費用の負担です。農村部のトイレはピット（槽）にたまったし尿を数年に１回バキュームカーや人力でくみ取る必要がありますが、その際には当然、料金がかかります。トイレの利用を促進するためには、造れば完了ではなく、維持に関する正しい情報を普及させる啓発活動が、重要となります。

未処理のし尿が河川に放棄されることが多く、水質汚染が引き起こされる危険があります。しかし、水質汚染によって健康被害が増えては、本来の目的が十分に果たされません。地域の水質データと、トイレ建設と健康データを入手し分析した結果、河川の水質汚染が約70％上昇し、その影響は、下水処理能力が、不足している地域に集中していることが分かりました。

分析から確認できたのは、トイレ建設と同時に、し尿を適正に処理するための下水処理インフラを拡充することが必要だということ。二つの課題を分析して思うのは、トイレ建設後の利用促進に併せ、し尿処理施設の整備を、ロータリーをはじめとした、水と衛生に取り組む団体により注力していただきたいと考えます。と述べております。

今、ロータリーに求められているのは、ハード面の支援にとどまらず、付随したソフト面での支援が重要だと感じる記事でした。

2015年から、タイの小学校のトイレを改修するプロジェクト。毎年10校程度の改修を行い今後も継続予定の東京世田谷RCの記事。

2020－21から３カ年実施し、カンボジアで６小学校・１中学校に各一つのトイレを新設した川崎RCの記事

2019－20年度地区補助金事業でウガンダに竪穴式トイレ付き小屋10棟建設。2022－23年度、地区補助金を活用して雨水貯水タンク・浄水フィルターの建設プロジェクトを行い、環境改善を図った大磯RCの記事。

アフリカのトーゴで、ふん便と尿を分別して回収する、高床式のトイレ、雨で便や尿が流れ出さず、汚水による水資源や土地の汚染を妨げる、半年間ほど寝かせて殺菌し、堆肥として土に返し農作物の収穫量増加や、高価な化学肥料の使用を減らす画期的なSDGｓの支援をしている宮崎アカデミーＲＣの記事。

2013－14年度フィリピンの小学校にターラックRCの要請で、トイレを建設。18－19年度はグローバル補助金事業両クラブの他姉妹クラブの韓国・セハンヤンRC、北釜山RCとの共同出資で事業拡大。今後も実施の予定の大坂西南RCの記事。等々多くのロータリークラブが世界中で水と衛生の支援事業を展開しています。最後にTOTO㈱顧問加賀美 清之さん（小倉東RC）の世界に誇る「おもてなし」の象徴・トイレの記事です。是非一読願います。

横組みP16～19　あらがえない魅力　ステファニーアーチック会長エレクト

アーチック氏は、ジャケットにロータリーのA

ction Plan（行動計画）のピンを着けています。「あらがえないほど魅力的なクラブとなるために、クラブ文化を変える方法を支援したいと思っています。毎年、15万人がロータリーに入会し、16万人が退会しています。それはつまり、クラブでの体験に価値を見いだせない人がいるということです。これらの人は、ロータリーを去るのではなく、体験したロータリークラブを去るのです。ですから、クラブには現状を調査してもらう必要があります。」と言ってます。

在任中に独身である数少ない会長の一人であり、これもロータリーでは、多様性に対する考え方が変化した一面かもしれません。今では、ロータリークラブの在り方が自分の地域社会に反映しているかどうかが問われます。年齢、性別、宗教の他に、政治的信条や、異なる視点、異なる考え方といったことも含まれます。もし、クラブが地域社会を反映しているなら、そのクラブは真に未来を掌握しているでしょう。ロータリーは、何十年もの間、定型の例会モデルを採用してきました。月に4回例会を開き、鐘を鳴らし、出席を取るといった具合に。世界は明らかに変化していたのに、私たちは変わっていませんでした。

遅れを取り戻す必要があったのです。今では、Eクラブ、パスポートクラブ、衛星クラブ、法人クラブなど、さまざまな形態のクラブがあり、奉仕する機会があります。私はさまざまな事例に目を通し、ロータリーは繁栄する未来へと向かっていると実感しました。それは、奉仕と親睦に多くのロータリー会員が参加する未来です。

会長としての優先事項。第１に、会員増強を図る行動計画を推し進める事。

第２に積極的平和を通じて分断された世界を癒すこと。「四つのテスト」を創造的な方法で活用すること。又、ピースポール（平和の柱）プロジェクトという方法もあります。クラブは地元の公園や広場などに平和の柱を立てることができます。柱に書かれた平和のメッセージは、ロータリーが平和構築に取り組む団体であることを地域社会に示すものです。最後は継続性です。指導的立場にある人たちが、その前任者や後任者と協力すること。そして、クラブが取り組んできたことや、クラブに根付いてきたことに目を向けることです。

会長が退任したからといって、成功したプログラムを止めるべきではありません。人生は多くのチャンスを与えてくれます。「イエス」の姿勢で向き合いましょう。そこから次に何をすべきか考えるのです。とおっしゃっております。当クラブの会員全てが、このような自覚を持って日々行動すれば、輝かしいクラブの未来が開けると思いました。

横組みP20～23　感染症との闘い
～ポリオ根絶とロータリー～　尾身 茂さん

30～40代の働き盛りの頃に、アジアのポリオ根絶に関わっていたので、ポリオは最も思い出深い感染症です。と話しておられます。1988年当時アジアでは中国を中心に5,991件ものポリオ感染症がありました。これは氷山の一角でした。

なぜなら、ポリオは100～200人が感染しても、症状が出るのはごく一部だったからです。その頃は、ポリオをモニターするシステムがほとんど機能していなかったため、実際の患者はこの何十倍、何百倍はいたと思います。計画が進行する中で多くの困難が伴いましたが、１番目の壁は資金の絶対的な不足でした。

当時、アジア地域では、50億円が足りませんでした。実は、この問題を解決してくれたのが国際ロータリー（RI）なんです。1990年にWHOのアジア責任者となった私は、資金調達のため日本政府や経団連、世界銀行など、各所にお願もあり、資金集めは難航しました。ポリオの関係者が集まる北京での会議にRIや日本のロータリアンが出席されていました。

結果的に、ロータリーからの２億円が呼び水となり、又ロータリアンの方が、1,000円の昼食代を100円のおにぎりだけで済ませて、後は寄付に回したとのエピソードもあります。

このような先輩たちの努力でポリオ根絶もあと一歩まで近づいております。いま一度、ここで力を合わせてポリオ根絶に向かっていただきたい。最後の大変な時期だからこそ、ロータリアン、日本政府、Ｇ７、国連が一つになれば、ポリオ根絶という難しい仕事を完遂できると思います。

ロータリアンの皆さん、今までのサポート、ご尽力、本当にありがとうございました。ポリオ根絶まで、「あと少し」。一緒に頑張りましょう。との記事です。力を合わせて頑張っていきましょう。

横組みP24～27
ガバナーのロータリーモーメント

各地区のガバナーが活躍している記事です。一読願います。

縦組みP4 ～P8　福島に職住を定めた私
廃炉と復興への思い　木野 正登さん

地震翌日の福島原発の事故は「レベル７」でした。これは、あのチェルノブイリ事故と同じでした。広報として重点を置いてきたこと。それは、ALPS処理水とは何か、これを海に流すことについてどう理解してもらうか、そして廃炉のための理解をどう広げていくか、ということです。「ALPS」とは、Advanced Liquid Processing Systemの略で、さまざまな放射性物質を取り除いて浄化する「多核種除去設備」のことです。

この設備により、放射性物質を海に流していい安全な基準まで浄化処理した水を、ALPS処理水と称します。汚染された水には64種類の放射性物質が入っていて、強い放射線を出しています。そ

のままの状態で保管すると、作業員も被曝してしまいます。そこで水を浄化するために、「ALPS」という機械を通すのです。ただ、残念なことにトリチウムという物質は取れません。他の物質も微量に入っていますが、主にトリチウムが入った水がALPS処理水の実態です。

一方、原子力を専門とする専門家からすれば、トリチウムの人体への影響はほぼありません。トリチウムそのものは今も地球上、ごく普通に存在している物質で、雨水や水道水、ミネラルウォーターの中にも入っています。私たちの体内からも検出されます。

今、福島第一原発の敷地内にはALPS処理水を入れているタンクが1080基あり、合計135万トン(最大貯蔵量137万トン)の処理水がためられています。

ここからが、大事な話になります。137万トンといってもピンと来ないでしょうが、東京ドーム１杯分が125万トンです。それよりも多い量になります。実はそれだけ大量の処理水の中に、トリチウムはわずか15グラムしか含まれていません。東京ドーム１杯分の水の中に、スプーン１杯分のトリチウムが入っていて、それが1080基のタンクの中に薄く広がっている状態です。今回の海洋放出は１リットル当たり1500ベクレル。これは世界保健機関（WHO）が定めた飲料水基準より７分の１も低い基準で、海洋放出するわけです。

現代の科学に照らせば、皆さんには影響ないと断言できます。科学的見地に沿った説明。非常に説得力があったと思いますが、皆様の感想は如何でしょうか。是非一読願います。

よそから来た役人の中で、自分一人くらいこの地で働き、この地で生きていくという選択もある、と思うようになりました。原子力を学んだ研究者として、廃炉の未来を見届けたいという気持ちも芽生えました。私は、今回のような前例のない仕事に対し、過去の自分の経験・知識に問いかけ、自分で考えるしかない、と腹をくくりました。ただ、悲愴な心持はなく、「辞めたいな」と思ったことはありません。それは、私が仕事に対してやりがいを持っているからだと思います。

仕事で一番大切なのは、そのモチベーションです。と言っておられます。自分の仕事に対し、各自考えてみては如何でしょうか？

大変すばらしい講演ですが、お隣のRID2530 RYLA研修会での講演でした。

縦組みP9 ～P12　この人を訪ねて

富岡ロータリークラブ　藤田 大さん

あの震災から13年、町の復興にもがく日々生きているだけでまるもうけ

人口が震災前には16,000人住んでいたが、現在は約2,100人の富岡町で、震災の２日前に一年がかりで新しい事務所を建設したが、大きな被害にあったにも関わらず奮闘する、富岡RC会員の記事です。ご一読願います。

スマイルボックス報告

杉本　義和さん

小関　　栄さん　コイ君２年間お疲れ様でした西那須野RC忘れないでね。
・グェン キン レンさんようこそ

関谷　直人さん　コイ君卒業おめでとう。

渡邉　　渉さん　コイ君卒業おめでとう。

角橋　　徹さん　コイ君卒業おめでとう。お母さんいらっしゃいませ。
・魔界への誘い１本

星野　　仁さん　コイ君あっという間の２年間でしたね、卒業おめでとう。

寺崎　貴志さん　コイ君卒業おめでとう。

益子　　修さん　コイ君卒業おめでとう。

柳場美枝子さん　コイ君卒業おめでとう。

	RC	曜日	例会時間	例会場	電話
姉妹友好クラブ例会一覧	パラニアッケ	月曜日	１９：００	（D.3830）Tavern Asia	
	東水原	木曜日	１９：００	（D.3750）Gyeonggi-do Suwon-si Gwonseon-gu Segwon-ro 175, 3F	
	桃園	金曜日	１２：３０	（D.3500）桃園市桃園區莊敬路二段369号　皇家薇庭	
	新座	木曜日	１２：３０	新座市東北２-27-14　ベルセゾン	048 ― 475 ― 1122
	郡山安積	火曜日	１２：３０	郡山市山根町８－７　ベルヴィ郡山館	024 ― 923 ― 1165
	茂原中央	火曜日	１２：３０	茂原市小林1978－8　茂原卸商業団地会館1階	0475 ― 26 ― 1515
近隣クラブ例会一覧 第一分区	黒磯	水曜日	１２：３０	那須塩原市本町５－５　割烹石山	0287 ― 62 ― 0128
	大田原中央	木曜日	12：30～ 最終木曜日19：00～	大田原市中田原2082－３　勝田屋記念会館	0287 ― 23 ― 4165
	大田原	木曜日	１２：３０	大田原市黒羽向町２　ホテル花月	0287 ― 54 ― 1105
	黒羽	金曜日	１２：３０	大田原市黒羽向町２　ホテル花月	0287 ― 54 ― 1105

事務所　いとう家 那須塩原市扇町７－12　☎0287－36－0028　FAX36－2854
例会日　火曜日　12：30
例会場　いとう家 那須塩原市扇町７－12　☎0287－36－0028

※３月のロータリーレート　１ドル151円